

平和・人権
社会・宗教
政治と暮らし
分かれ合い

No.44

共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

ふみづき
文月
7
2014



Sr. 山本紀久代さんのお話
(援助修道会)

8月3日(日) 黒崎教会ミサ後
信徒会館

東北の方々が「私たちのことを見忘れないでください！」とたびたび訴えておられます。その呼びかけに心を留め、兄弟姉妹として祈りあい、助けあつておられる方に心から感謝いたします。個人的な体験ですが、約3年間の被災地での生活の中から少しでも皆さんに分かれ合えたらと思ってます。

「3年間被災地で活動して」

安倍首相はあくまで集団的自衛権の行使を閣議決定しようとしています。集団的自衛権をわかりやすく言えば、「他国を守らねば自国が危うくなる」という名目でもって、武力攻撃に参加できることで、武装した自衛隊を戦地に派兵することが目的です。朝日新聞で「アフガニスタン戦争でNATO軍が後方支援でも犠牲者がでた」ことを報じていました。集団的自衛権の行使は、平和憲法と正反対の道、殺し殺される道です。多数決によって憲法解釈を変えられるとすれば、憲法そのものが不要となり国民党が政治権力者の道具となってしまいます。安倍首相が解釈改憲について「子どもを守る」「限定的使用」などと言いましたが、本当にそう思うなら平和外交に徹した方法で進むべきでしょう。武装した自衛隊を戦地に派兵することに執念を抱いている：まさに異常です。集団的自衛権の行使を認めさせないために真の平和の声を響かせましょう。

安倍首相はあくまで集団的自衛権の行使を閣議決定しようとしています。集団的自衛権をわかりやすく言えば、「他国を守らねば自国が危うくなる」という名目でもって、武力攻撃に参加できることで、武装した自衛隊を戦地に派兵することが目的です。朝日新聞で「アフガニスタン戦争でNATO軍が後方支援でも犠牲者がでた」ことを報じていました。集団的自衛権の行使は、平和憲法と正反対の道、殺し殺される道です。多数決によって憲法解釈を変えられるとすれば、憲法そのものが不要となり国民党が政治権力者の道具となってしまいます。安倍首相が解釈改憲について「子どもを守る」「限定的使用」などと言いましたが、本当にそう思うなら平和外交に徹した方法で進むべきでしょう。武装した自衛隊を戦地に派兵することに執念を抱いている：まさに異常です。集団的自衛権の行使を認めさせないために真の平和の声を響かせましょう。



人命を殺し合ひもなに
か生めるうらじよう
若し人をもと目をさます
なれば立度ひどす
戦争する
國にしないで。

イラスト 西山進さん

援助修道会 修道院より

7月11日：イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。
どなたでもお出でください。



麻薬をめぐる国際戦争

講演録



講演 秋吉久紀夫 九州大学名誉教授（中国文学）

とき 6月18日（水）

ところ 援助修道会黒崎修道院

「いかに麻薬が多く出回っていることでしょう。朝日新聞、5月9日の記事を読むと、アフガンでケシ栽培がされそれが世界中に出回つており、アメリカが儲けている」

講演のはじめに秋吉先生はこう述べられ、「アメリカの秘密組織が、公然と栽培して売りさばいている。報道されながらも何か隠されているようで、講話のタイトルを「麻薬をめぐる国際戦争」としました。」と話しました。講話に入る前に秋吉先生は、中国のカトリック教会から発行されているカラー冊子を見せました。その冊子は公認教会と愛国教会（地下教会）が共同で発行しているものです。日本の私たちの感覚では、中国政府の公認教会と愛国教会がこのように共同で出版するというのはほとんど考えられないことでしたから、驚きました。そしてカトリック者はいまや1億人ちかくいることも話され、参加者たちは思わず「ええ」と声をあげてしまいました。それから本題へと移りました。一時間半の講話は、アヘン戦争発端の理由から、「麻薬をめぐる国際戦争」にご期待下さい。

日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(8)



前号のポイント

日本政府は、国連の社会権規約委員会と拷問禁止委員会で非常に厳しい勧告を受けたにもかかわらず「従う義務はない。」という答えで、そしてそれを閣議決定したのです。

（国連の動きを知らざ過ぎる）

日本は自分たちが入っている条約については、定期的に報告し審査を受けないとならないのです。しかし国連の様々な勧告が決定的な拘束力を持っているわけではありません。国家の方が力がありますから。非常に難しいところですが、国連の勧告は事実です。ただ日本の場合、特にメディアが報じないので国民も無関心です。私が京都府議会で意見書を妥結するため資料を送り説明したのは、国連の動きでした。あまりにも議員たちがご存知ないからです。この問題について各国の理解度や情勢がどのようにあるかを日本は知らなさ過ぎます。そして政府が平気

2013年11月9日 下関講演

※編集の都合上、講演内容の要点を掲載しています。
文責／編集部

で無視します。そうなると、やはり市民の政治力が必要となります。市民が政治力を發揮して地方議会やメディアを動かしていくないと、国際社会と市民のこの問題に対する知識の温度差があまりにもあるわけです。残念ながらアムネスティインターナショナル日本支部の中にも温度差があります。国家を縛ることができない事実、大きな問題です。

（支援者側からみえてくるるもの）

私も支援者ですがどういうことがわかるでしょうか。1つは、事実よりも被害者の気持ちを聞くことが大事です。彼女たちは最初は恥ずかしさ、或は自分が悪かったのではないかという罪意識、話してしまうと家族に迷惑が被るのじゃないかという意識があります。私たちが話に耳を傾けることによって次第にものすごい怒りを出します。何年頃に誰に連れて行かれたとかは大事な事ではありません。ところが、ヘイトスピーチなどでは「揚げ足を取るようなことを言います。（次号へ）

麻薬をめぐる国際戦争

講演録



講演

秋吉久紀夫

九州大学名誉教授（中国文学）

とき

6月18日（水）

ところ 援助修道会黒崎修道院

新連載 8月号から始まります！

「いかに麻薬が多く出回っていることでしょう。朝日新聞、5月9日の記事を読むと、アフガンでケシ栽培がされそれが世界中に出回つており、アメリカが儲けている」講演のはじめに秋吉先生はこう述べられ、「アメリカの秘密組織が、公然と栽培して売りさばいている。報道されながらも何か隠されているようで、講話のタイトルを「麻薬をめぐる国際戦争」としました。」と話しました。講話に入る前に秋吉先生は、中国のカトリック教会から発行されているカラー冊子を見せました。その冊子は公認教会と愛国教会（地下教会）が共同で発行しているものです。日本の私たちの感覚では、中国政府の公認教会と愛国教会がこのように共同で出版するというのはほとんど考えられないことでしたから、驚きました。そしてカトリック者はいまや1億人ちかくいることも話され、参加者たちは思わず「ええ」と声をあげてしまいました。それから本題へと移りました。一時間半の講話は、アヘン戦争発端の理由から、「麻薬をめぐる国際戦争」にご期待下さい。

日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(8)



前号のポイント

日本政府は、国連の社会権規約委員会と拷問禁止委員会で非常に厳しい勧告を受けたにもかかわらず「従う義務はない。」という答えで、そしてそれを閣議決定したのです。

（国連の動きを知らざ過ぎる）

日本は自分たちが入っている条約については、定期的に報告し審査を受けないとならないのです。しかし国連の様々な勧告が決定的な拘束力を持っているわけではありません。国家の方が力がありますから。非常に難しいところですが、国連の勧告は事実です。ただ日本の場合、特にメディアが報じないので国民も無関心です。私が京都府議会で意見書を妥結するため資料を送り説明したのは、国連の動きでした。あまりにも議員たちがご存知ないからです。この問題について各国の理解度や情勢がどのようにあるかを日本は知らなさ過ぎます。そして政府が平気

2013年11月9日 下関講演

※編集の都合上、講演内容の要点を掲載しています。
文責／編集部

で無視します。そうなると、やはり市民の政治力が必要となります。市民が政治力を發揮して地方議会やメディアを動かしていくないと、国際社会と市民のこの問題に対する知識の温度差があまりにもあるわけです。残念ながらアムネスティインターナショナル日本支部の中にも温度差があります。国家を縛ることができない事実、大きな問題です。

（支援者側からみえてくるもの）

私も支援者ですがどういうことがわかるでしょうか。1つは、事実よりも被害者の気持ちを聞くことが大事です。彼女たちは最初は恥ずかしさ、或は自分が悪かったのではないかという罪意識、話してしまうと家族に迷惑が被るのじゃないかという意識があります。私たちが話に耳を傾けることによって次第にものすごい怒りを出します。何年頃に誰に連れて行かれたとかは大事な事ではありません。ところが、ヘイトスピーチなどでは「揚げ足を取るようなことを言います。（次号へ）

「原発問題」から見えてきたこと：倫理的・思想的視点から 私たちは何処から来て、何処へ向かっているのか？

★地の民の自己認識

ここでまず、「帝国による核支配体制」という言葉に込めた意味から説明します。

それは原子力の独占と原子力による世界支配のもくろむ金融資本を盾にもつ国際マフィアです。これは共通の利益で結ばれた「現代のファラオ」たちの同盟です。その管理システムは「いのちの序列化」による支配です。

「いのちの序列化」とは身分の序列とは異なり、いのちそのものに価値がつけられ、上は生きるに値する「きれいな」いのちから、下は存在するに値しない「汚い」いのちまでの序列です。

ここで「出エジプト」の物語に思いを馳せてください。モーセがイスラエルの民を率いて脱エジプトを敢行したとき、すべてのイスラエルの奴隸が脱エジプトに参加したわけではありません。あの「脱出の共同体」の中心を占めていた者たちは、自分が「いのちの序列化」によって底辺に固定された奴隸状態から、約束の地に向けて救済（脱エジプト）される必要を知っていた「地の民」であったのです。自分たちがそのような奴隸状態からの救済を必要としているという自己認識と歴史認識をもたない者たちは救済を求めません。さらにこの物語にはその自己認識と歴史認識を成り立たせる神学的認識が語られています。それは苦難にあえぐイスラエルの民の「叫びを聞き、その痛みを知った」（出エジプト3:7）教済者である神の記憶が記されているだけでなく、イスラエルの民と「共にいる」（同3:12）と約束なさる解放者である神の認識が記されています。こうしてイスラエルの民と自己同一化した神は、その民を解放することを通して、ご自身をファラオの支配から解放するの

木村公一牧師の小倉講演(3)



です。

それゆえに、地の民の関心は悔い改めによる救済、すなわち、方向転換による脱エジプトです。地の民は暴力に曝されても暴力に依存しません。地の民は搾取されても自らが搾取する者になることを拒否します。地の民は正しい権力の行使を求めて、力が力を生むことにこちらを奪われません（詩編62:11）。地の民はむしろ「現代のファラオ」の支配、すなわち原子力の暴力から脱エジプトを試みます。地の民は原子力の暴力による「専制と隸従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努め」

（日本国憲法前文）、平和を構築する靈性と思想を育み、その実現のための法を制定し、政策をうみだし実践します。なぜなら、彼らは荒れ野で、「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ」（マルコ1:3）と叫ぶ者の声を聴き、「悔い改めて福音を信ぜよ」とのイエスの招きを受けたのですから。

★試論：脱原発の宣教論的指針³

日本の教会指導者たちや神学者たちの言動は、例外はあるにせよ、全体としてこの利権構造の内側で「原子力の平和利用」と「安全神話」に取り込まれた説教、研究、教育をしてきたのではないでしょうか。わたしは自己批判として自らに問うのですが、神学とは常に「後出しジャンケン」のようなものなのでしょうか。 続く

2 「原発利益共同体」（前号★印）

保守派からの脱原発の声としては『「原子力ムラ」を超えて：ポスト福島のエネルギー政策』飯田哲也、佐藤栄佐久、河野太郎共著（NHK出版2011）がある。

3 摘論「原子力支配=いのちの序列化からの『出エジプト』」『原発とキリスト教：私たちはこう考える』所収（新教出版社編集部編2012年）p.207-216.

《アムネスティ》下関通信(3)



この6/21～22松江市で「アムネスティ中四国交流会」が持たれました。10グループ25人程の小集会でしたが、片道17時間かけて参加の日本アムネ創立以来の高齢会員や、下関から2名の新会員まで熱い交流会でした。松江は何といっても日本で唯一県庁所在地に原発がある街。テーマは「地方の市民活動ネットワークの築き方」でしたが、いきおい原発に話題が集中。



初日は「原発に追われて」（双葉町）の映画と女性制作とのトーク。2日目は長年反核運動をされ最下位ながら初当選された女性市

議のお話と、その方の引率による島根原発見学（PR館のみ）。原発は権力組織の問題性の象徴的存在。今福島では県指導で「ハッピー福島」が合言葉のようだが、現実は極度の疲労で気力さえ失っている人が多い。被災時のシェミレーションは発表されているが不安一杯の松江市民等、切実感を共有。さらなる市民運動の結束が強調されました。

グループ紹介の折、下関アムネ会員の大半は、下関の非核運動体（10フィートの会）の代表や会員、30年前、市役所前に「非核宣言都市・下関」の塔を2万名署名で設置したことなどの報告もしました。7/20は「さよなら島根原発！」の大集会日です。（アムネ下関、山県）



「遊就館」内を見学



前号で紹介した「遊就館」にある「天照大神」の像。神話の世界を信じ込んでいるのであろう。右は説明によるとシベリア出兵した時の銃と写真。勿論館内は、幕末の戊辰戦争から日清・日露・シベリア出兵から15年戦争（満州侵略からアジア太平洋戦争敗戦まで）の戦闘の様子や銃・大砲・鉄かぶと・将校の写真などあらゆるもののが展示されている。戦争に関するものを誇らしげに飾り付けしているが、これを正しいことと思い込まされている若者が意外に多くいる。反面“憲法守れ”の若者のデモも最近起きている。

(北の国から) 洞爺湖を臨みながら (ギ) 初投稿

研修で洞爺湖のホテルにいます。この自然を前にしてふと浮かんだのは、石原伸晃環境相「金目でしょ」都議会「産めないのか」麻生財務大臣のいじめと集団的自衛権の発言です。どことなく自

民党でもいいんじゃないかと思っていましたが、そんな自分が恥ずかしく思うようになりました。品性のない人たちの集団が自民です。

日本漫画家協会
日本漫画家会議にしやま すすむ
西山 遼さんの漫画

せん 微 決 日本 い す き の 日本 は ど こ へ 向 て い ま す。
か 力 て く は し ま た は そ う 連 中 が そ う と
無 か て は ま た は そ う 画 宅 し て い ま す。
あ ま は ま た は そ う は そ う は そ う と
あ ま は ま た は そ う は そ う は そ う と



(2013年10月16日に頂いたものです。)

ブックレット好評 100冊完売

奄美でカトリック排撃運動はなぜ起ったのか

カトリック正義と平和」協議会講演録Vol.6
A5サイズ 70p 150円(送料別途)

1934年(昭9年)、奄美大島のカトリック信者は強制棄教に立たされた。区長から「棄教しなければ殺すぞ」と迫られ、「事の余りに突然なのに信者驚き仕方なく不本意乍ら信者全部背教を誓ひ…」「女子は勿論大人までも泣き叫び」「3,500名ほどいた信徒の内、3,000名以上が転宗…」。(52pより)

神戸大学名誉教授の須崎真一さんは、冒頭で「日本ファシズムの典型的な事例が、奄美大島でみられました」と述べ「奄美大島や上智大学の教訓(神社参拝の容認)は現在に非常につながっている」と結論づけています。



お申し込みは
編集部まで
FAX
093-622-1290

ぶら~り秋月へ(写真読者提供)

秋月眼鏡橋

1810年作られた花崗岩使用は珍しく、県指定有形文化財に指定。ゆっくり時間をかけて歩きました。



→ もっと言わせて (ギ) 2回目投稿 6月27日

締め切り間際ですみません。昨日、公明党の変質をみて、あれ?と思いました。まさか集団的自衛権を認めるほうにくるっと変わるなんて。沖縄の仲井眞知事が変わったのとおんなじ。強い者になびくんですか。平和の党と言っていたのに!洞爺湖のホテルからツイッターしました。

みなさん、来てください。(北)

反核医師のつどい2014 in 福岡

とき:11月1日(土)13時~18時20分
場所:都久志会館(福岡市中央区天神4-8-10)
テーマ:核はいっちゃん好かん

~作るばい安全な未来、核なき世界~

記念講演:伊藤千尋(朝日新聞文化くらし報道部)
学習講演:瀬織 厚(山口大学副学長)

11月1日(土)はどなたでもご参加下さい。無料

※参加申込み書は「共に生きる」編集部にあります。

沖縄という鏡を通して見える日本国(8)



日本キリスト教団牧師(沖縄在住)

平 良 修 牧 師

軍事力があつたために日本は15年間も侵略戦争ができたわけですから。大変な歴史を残してしまった。大変な害を与えてしました。大変な恨みを買っているわけです。特に東南アジア、中国からも。その元になつてゐる日本の軍事力を完全にゼロにすることが彼の占領政策の一つかつたんです。だから憲法9条を作つたんです。と言つてもアメリカは本当に軍を必要としないのかといえど、とんでもありません。アメリカほど戦争の好きなキリスト教国はありません。すぐ戦争に持つていこうとするでしょう。あの性質はカウボーイの性質ですかね。何でしよう。カウボーイの映画を観たことがあります。片手に聖書、片手にライフルつてのがありましたよ。オバマさんもそういう性格がついているんじゃないですか。シリアに対して簡単に軍事行動を取ろうと言つたりして。戦争のことを簡単に考える文化をアメリカという国は持っていますよ。本当におかしいですね。

次にはソ連を相手にした冷戦が始まるでしょう。それに向けて軍事体制を整えなければならぬんです。日本は丸腰ですが、本來なら米軍と協力してソ連に対抗したいという本音もあるわけですから、それは実行したい。で、代わりの場所を沖縄に求めたんです。沖縄を固めておけばね、あまり遠くないから冷戦にも対応できるんです、沖縄だつたら。だから日本本土には憲法9条をあてがつて軍事力を持たない代償として沖縄の基地を固めたんです。ある意味で沖縄の犠牲の上に憲法9条が成り立つています。60年代に日米安保に対するものすごい反撃が日本国内で起りました。

地を置くことは難しいなと日本政府は経験させられました。それで岐阜県にある米兵海兵隊基地、山梨県の富士山麓の基地を沖縄へ移しました。その軍隊が沖縄のキャンプハンセンとキャンプシュワブに来ています。本土の米軍基地を減らして沖縄に移したんです。それが沖縄に基地が集中している一つの原因です。米軍は朝鮮戦争をはじめ、次から次へと戦争を経験しています。沖縄はその都度出撃基地でその経験を重ねてきています。米軍は使い慣れていますから、これはいい基地だと納得しています。使い慣れているからそのまま保存したいわけです。

日本政府は憲法9条以上に日米安保を大事に考へてゐるらしく、その場合、日米安保の要になつてゐるのが沖縄の基地なんです。だから沖縄の基地は日米安保に行動的に組み込まれているんです。だから日米安保を破棄するところまで行動をとらない限り、沖縄の米軍基地は動かないでしょう。今の日本には破棄しようというお陰で平和が保たれていると信じ込んでゐる人たちがいっぱいいるわけですから。憲法9条によつて平和が保たれていると言わぬよう操作されてゐるんじゃないですか、教育によつて。じやないですか、教育によつて平和が保たれてゐると言わぬよう操作されてゐるんじゃないですか、教育によつて。憲法9条の基地がゆらいだら困るんです。宝物のように減らすことはあまり考えない。代わりに補助金を増やすとかして基地そのものは虎の子のように維持したいのです。そういう様々な理由で沖縄に相当な分量の基地があると

編 集 後 記

カトリック教会の「社会教説綱要」翻訳本が5年前に出されました。教皇大使の手紙が最初にあり、その中に「教会は平和を真剣に求めており、…日本が手本を示しているように、平和への確約を憲法に含めることは非常に有望な兆しです。これは他国にとって、攻撃されないという保証になります。より多くの国がこのような平和条項を憲法に取り入れることが望れます。」と。バチカンが日本の平和憲法をどうみているかがわかります。与党公明党が集団的自衛権を容認する姿勢を示しています。二重・三重の歯止めがあるといいますが、戦争へと動き出すのをやめさせるのが本当の歯止めでしょう。(瀬下)